# ともに励まん

２０１８，１１，１（木）
北海道旭川永嶺（えいりょう）高等学校２年次だより　第３０号（通巻 75 号）

## さあ、勉強だ

霜月です。やっと神様が戻ってきました。よかったね。

さて、高校生活最大の行事と言われる見学旅行も終わりました。

これからは高校生活後半、進路の実現に向け、まっしぐらとなります。

見学旅行最終日、学校に午後9時頃着くと、2階の3年生教室に煌々と灯りがともっていましたね。マーク模試が行われていたのです。センター試験の模試です。科目数が多いので、あんな時間までやっているのですね。みなさんも、来年の今頃はこうなるなんです。職員室やさまざまな教室で、休み時間、放課後と、面接練習、小論文練習を受けている3年生がたくさんいます。頑張っています。その後ろ姿を真摯に追いかけよう！

が、しかし。2年生の現実としては、体調を崩しての欠席が少なくありません。授業も気合いが入っていないようです。いつ、受験生になりますか？ 大概の学校で言われるのは、この見学旅行から帰ったら、すぐ受験生モードに切り替えるのが王道だということ。

とりあえず、今週末の11月進研模試は全力で。**復習こそ模試の有効活用法。**そして今月末には、はや中間考査だ。こちらももちろん全力で。

## 不満に答える

見学旅行は制約が多い分、いろんな無理、我慢を強いられる団体旅行です。この日程（4泊5日）、このコースで、納得のいく宿泊施設、食事の提供を受けた個人旅行をしようとしたら、12万円の旅費では絶対に実現しないでしょう。それだけに、旅行社としても、学校としてもさまざまな工夫や準備をしてきました。君たちが入学して早々（去年）、ゴールデンウィークも返上で旅行会社を決める資料作りをしたのが、ついこの間のことのようです。

宿の不満、食事の不満、時間の不満、移動のクラス順の不満、ほかにもあっただろうか。まあ、不満だらけだろうね。でもね、完全無欠、全員１００％大満足の見学旅行なんて、聞いたことありません。これでも少しずつ少しずつ良くなってきているんだよ。

みんなはどうしても「消費者感覚」「お客様目線」で、「サービス提供」を受ける感覚が身につていると思うのです。君たちがいいとか悪いとかの話ではなくて。時代なんだよね。「客を充分満足させるサービスを提供して当然」という世の中の感覚、風潮だね。「もっと楽しませろよ」「もっと満足させろよ」「こっちは客なんだぞ」・・・そういう時代なんです。提供する側は、ひたすら「顧客満足度」の向上に血道を上げる。テレビ番組もそう。情報だってそう。受け手側は自分にとって満足できるもの、都合のいいものばかりを選んでしまう。そして、「1億総批評家」。そんな時代なんです。

でもね、こう思います。半分、相手の立場を思いやって、半分、こんなもんかと諦観（ていかん）（あきらめ）の境地で。

なぜって、慰安旅行や観光旅行なのではなく、教育旅行なのであるから・・・。将来、自分の力で、もっとすてきな旅を楽しんで下さい。**学生時代にできなかったあれやこれやを、社会人になったらかなえてやるぞっ**、っていうのがいいんです。将来を充実させるための助走期間が学生時代なんです。

## いい旅できたかな？　旅は「出会い」

ではここで、わたくしイマルのいい旅日記を。4日目、清水寺から京都自主研修の日の報告です。

いつも、自主研修時は、生徒の行きそうな見学地を独力で（人に頼らず自分の足と頭で）回るようにしています。だから今回も多くのグループに出会ったはずです。ちなみにこの巡回はすべて自費（交通費も拝観料も）ですよ。

旅行前に案内したように、清水では舞台を出たところでお約束の「随求堂」胎内巡り。

門前の最初の土産物屋で「おのみやす」という梅昆布茶を購入。これは毎度カミさんのリクエスト。ここと嵐山でしか売っていないのだとか。

清水坂を下りかけてまもなく右手に折れて「三年坂」「二年坂」へ。ここがまたいい。ごみごみとしていない、風情のある店が軒を連ねる。お香の専門店、陶器（清水焼？）の専門店などをのぞきながら、「おうすの里」という梅の実加工品の専門店がまたいい。梅ってこんなにもおいしくなるのか、という品揃え。ここではムスメのリクエストの一品がある。

ついでにそのすぐ近くには、「スタジオジブリキャラクターグッズ専門店・どんぐり共和国」という店があり、店先にはほぼ等身大のトトロとバス停とメイちゃんの置物が。

いつもはここからさらに直進して、わが家の菩提寺の総本山、知恩院にてしばし僧侶の読経に聞き入るのであるが、今回は寄らずにバス道へ。歩いてほどなく「祇園」のバス停で金閣寺方面行きを待つ。

**さあ、ここからドラマは始まった！**　「祇園」の名のバス停はいくつもある。「旭川駅」という名のバス停がいくつもあるのとおんなじように。で、**そこにいたご婦人**に「金閣寺方面へ行くバスはこちらでよろしいですか」と尋ねる。と、目の前を通過したバスの窓から笑顔で「せんせ～！」と叫んでいく〇組女子の一団が。ご婦人から「先生なんですか？」と尋ねられ。

ご婦人、最初は、ここから〇〇番のバスに乗るといい、途中、なんとかターミナルで青色の〇〇番線に乗り換えるといいと教えてくださっていたのだが、いざ、当のバスが来ると一緒に乗り込んで、私もこの方面だから途中までご一緒します、とのこと。混んでいたバスも途中で座席が空くと、「先生、お疲れでしょう。お掛けなさい」と勧められるがとんでもない。おそらく70歳代のご婦人である。固辞してご婦人に座席を譲ると、「荷物をお持ちしますよ」って、ボクのショルダーを膝に抱えてくださる。

さらに。なんとかターミナルで乗り換えるのが普通なんだけれど、そこではバスがいっぱいいて迷うから、そのちょっと手前で乗り換えると間違いなく目指すバスに乗り換えられる、ということで、「一緒にここで降りましょう」ってバスを捨て、一緒にそのバスを待ってくださった。そうして目指すバスがやってきたところで「このバスです」と案内してくださって、ご婦人は笑顔で手を振って見送ってくださったのでした。ここまで、祇園からおよそ40分ほどもかかる行程でした。

どうして、行きずりのこんなおっさんに、ここまで親切にしてくださったのか、いまもってわかりません。じつにありがたいことでした。感動してしまいました。自分もいい人になりたい、誰かに親切にしたい、と痛切に思ったのでした。

その後は、久々の金閣寺。山道につくづく杖を持って行って正解だったと感じ、北野天満宮でみんなの学業成就と、わが芸道の上達を祈願し、旅館目指して京都駅方面へ向かったのでした。

じつは途中立ち寄った「錦市場」というところでものすごい「発見」をしたのだけれど、その話はまた。

旅行前の通信にも書きましたが、旅はいいものです。発見あり、感動あり。先々で人の親切、優しさに触れられる。われとわが身を振りかえられる。それが旅の醍醐味と、改めて痛感した次第。

## ☆☆☆　来週の行事と時間割　☆☆☆

| 11月 | | 行　事　等<br>①②は、１校時２校時をあらわします | | ★時間割を確認しよう<br>① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ５ | 月 | 職員の会議 | 6 時間 | | | | | | | |
| ６ | 火 | | 7 時間 | | | | | | | |
| ７ | 水 | 教育大体験　薬物乱用防止教室　職員の会議 | 6 時間 | | | | | | | |
| ８ | 木 | ⑦ LHR（表現ノート） | 7 時間 | | | | | | | |
| ９ | 金 | | 6 時間 | | | | | | | |
| １０ | 土 | 新共通テスト試行受験 | | | | | | | | |

*2年生、そして高校生活　後半戦。ココカラだっ！。*　（文責　伊丸岡）